



## 天皇皇后両陛下下御臨席・黙祷

天皇皇后両陛下の御臨席の後、東日本大震災で犠牲になられた方々に対し、黙祷を捧げました。



## 大会旗入場

学校法人ひばり幼稚園の先導により、宮城県水産高等学校の旗手団が入場し、旗手団長から石川光次郎宮城県議会議長へ大会旗が手渡されました。



学校法人ひばり幼稚園



宮城県水産高等学校



## 開会のことば

### 宮城県漁業協同組合代表理事組合長 寺沢 春彦

寺沢春彦宮城県漁業協同組合代表理事組合長の「開会のことば」で、式典が始まりました。



## 主催者あいさつ

### 全国豊かな海づくり大会会長 衆議院議長 大島 理森

第40回全国豊かな海づくり大会が開催されるに当たり、主催者として一言御挨拶申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々及び御遺族の皆様にお悔やみを申し上げますとともに、罹患された方々にお見舞いを申し上げます。また、本感染症への対応が長期化する中、医療従事者をはじめ第一線で奮闘されている全ての方々に深く謝意を表します。

天皇皇后両陛下におかれましては、現下の困難な状況の中、常に国民を思われ、国民に寄り添われていらっしゃいます。本日は、全国豊かな海づくり大会の会場に初めてオンラインで行幸啓を賜り、まことにありがたく存じます。

今大会は「よみがえる 豊かな海を 輝く未来へ」をテーマにここ宮城県において開催されます。

宮城県は、世界三大漁場の一つである三陸沖漁場に近く、全国有数の漁業生産量を誇り、「食材王国みやぎ」と呼ぶにふさわしい豊かな食と生活を実現し、固有の風土や文化を育ててこられました。しかし、10年前の東日本大震災により、県内の漁港の全てが被災し、水産業は壊滅的な被害を受けました。その後、農林水産業・商工業の在り方や公共施設・防災施設の整備・配置などを抜本的に再構築されるとともに、国や全国の自治体・民間事業者等からの支援を受けながら、県民の皆様と一体となって復興に取り組まれた結果、かつての水産業の姿を取り戻しつつあると聞き及んでおります。

この大会を通じて、震災から10年という節目に、東北地方の復興が着実に進んでいるという力強いメッセージと支援に対する感謝の想いを発信するとともに、水産業の一層の振興・発展に繋げてまいりたいと思います。

本日、栄えある表彰をお受けになる方々に対し、心より敬意を表しお慶びを申し上げます。また、お集まりの皆様には、次の世代へ豊かな海を継承するため、今後とも御尽力を賜りますよう切にお願いいたします。

結びに、大会開催のため力を尽くしてこられた関係者の方々に厚く御礼を申し上げ、御挨拶といたします。



## 表彰

功績団体表彰受賞者（栽培漁業部門、資源管理型漁業部門、漁場・環境保全部門）及び作品コンクール（作文、絵画、習字）入賞者の表彰式を行いました。

### ◎功績団体表彰受賞者代表

大会会長賞：宮城県漁業協同組合仙南支所（山元）【資源管理型漁業部門】  
農林水産大臣賞：福島県漁業協同組合連合会【資源管理型漁業部門】  
環境大臣賞：公益財団法人ひょうご豊かな海づくり協会【栽培漁業部門】  
水産庁長官賞：荒尾漁業協同組合【漁場・環境保全部門】

### ◎作品コンクール受賞者代表

宮城県知事賞：東松島市立赤井小学校6年 長坂 良夢【絵画】





### 主催者あいさつ

#### 宮城県知事 村井 嘉浩



本日、宮城県において「第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～」を開催できますことは、私たち宮城県民にとりましてこの上ない喜びであります。

天皇皇后両陛下におかれましては、現下の新型コロナウイルス感染症を巡る情勢に鑑み、オンラインにて御臨席を賜っております。県民を代表し、心から御礼申し上げます。

このみやぎ大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を一年延期してまいりましたが、関係する皆様の御尽力により、こうして開催できますことに、改めて深く感謝を申し上げます。

また、こうした状況の中、全国から宮城の地に足をお運びいただきました御来賓・御招待者の皆様を心から歓迎いたしますとともに、功績団体と作品コンクールの各部門で受賞の栄に浴された皆様には、心から御祝いを申し上げます。

さて、本県は、沖合に世界三大漁場として知られる三陸沖漁場が広がり、マグロやカツオ、サンマなど、季節ごとに多種多様な魚が水揚げされ、また、沿岸ではノリ、カキ、ワカメ、ホヤ、ホタテガイ、ギンザケなどの養殖が盛んに行われる、国内屈指の水産県として発展してまいりました。

こうした中、平成23年に、あの忘れもしない東日本大震災が発生し、それまでの日常・風景が一変いたしました。壊滅的な被害を受けた沿岸部を中心に多くの尊い人命が失われ、自宅や職場などの生活基盤を失くし、絶望の淵に立たされたあの光景は、今でも忘れることができません。

復旧・復興の道のりは困難を極め、挫けそうになる日々の中、国や全国の自治体からの多大な御支援をはじめ、数多くのボランティアや救援物資、寄付などは国内にとどまらず海外からも寄せられ、この上ない大きな励みになりました。

これらの御支援を力に、我々宮城県民は一致団結し、時に激しい議論となる場面もありましたが、新しいまちづくり・県土の復興に突き進んでまいりました。

震災から10年、宮城の海はかつての輝きを取り戻しつつあります。

当たり前にある日常への感謝、豊饒な海への感謝、そして復興に際して寄せられた御支援への感謝を忘れずに、今大会の「よみがえる 豊かな海を 輝く未来へ」のテーマのもと、宮城の将来像・本県水産業の明るい未来を描いてまいりたいと思います。

本大会の開催を契機として、SDGsの理念に基づく水産業の持続的な発展を目指すとともに、海洋プラスチックごみや温室効果ガスへの対策を含め、自然環境保全の重要性について、本県としての取組と決意を表明し続けてまいります。

そして、次代を担う子ども達に、森から川、そして海へと繋がる豊かな自然を守り、育てていくことの大切さをしっかりと受け継いでまいります。

結びに、天皇皇后両陛下の御臨席を心からお祈り申し上げますとともに、本日御列席の皆様方の御多幸を御祈念申し上げ、そして復興へ御支援いただきました全国の皆様へ改めて感謝を申し上げ、挨拶とさせていただきます。

### 歓迎のことば

#### 石巻市長 齋藤 正美



本日、ここに天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、「第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～」が石巻市で開催されますことは、誠に光栄であり、心から感謝申し上げます。

また、本大会に御参加の皆様、ようこそ石巻市へおいでくださいました。市民を代表いたしまして、心から歓迎を申し上げます。

さて、ここ石巻市は、北上川の河口に位置し、宮城県北東部地域を代表する風光明媚な都市です。

金華山沖漁場を背景に漁業のまちとして栄え、現在も、金華山沖は世界三大漁場の一つに数えられ、かつお・いわし・さばなどの水産資源の宝庫となっております。

また、甚大な被害をもたらした東日本大震災を乗り越え、全国の皆様からの支援をいただきながら、着実に復興が進みつつあるところです。

私たちは、これからも全国の皆様への感謝の心を忘れることなく、これまで多くの恩恵を与えてくれた、この豊かな海を守り、次の世代に承継する努力を続けてまいります。

結びに、天皇皇后両陛下の御健勝を心よりお祈り申し上げます。今後とも、豊かな海づくりに向けた取組が一層広まることに繋がる大会になりますことを心から御祈念申し上げ、歓迎のことばとさせていただきます。



### 天皇陛下のおことば



第40回全国豊かな海づくり大会に、オンラインという形で、皆さんと共に出席できることを大変うれしく思います。

四方を海に囲まれた我が国は、古くから豊かな海の恵みを享受してきました。また、山や森から河川や湖を経て海へ至る自然環境と、そこに育まれる生命や文化は、私たちに様々な恩恵をもたらしてくれます。この豊かな海の環境を保全するとともに、水産資源を適切に保護・管理し、海の恵みと海に関わる文化を次世代に引き継いでいくことは、私たちに課せられた大切な使命であります。

今回で40回を数える本大会が果たしてきたこのような役割と意義に思いを馳せ、大会に携わってこれた多くの関係者の努力を多といたします。

今大会の開催地宮城県は、沖合で親潮と黒潮が交わり、サンマやカツオ、マグロなどの海の幸に恵まれてきました。また、沿岸では、カキやノリ、ギンザケなどの養殖が盛んに行われ、全国有数の生産地となっています。

その宮城県では、今から10年前に東日本を襲った巨大地震とそれに伴う津波により、1万人以上の尊い命が失われました。また、多くの家屋やあらゆる産業基盤にも甚大な被害が発生しました。震災後、皇后と共に訪れた被災地の光景は、今も目に焼き付いて、私たちの脳裏を離れることはありません。この震災によって亡くなられた方々に対し、深く哀悼の意を表するとともに、被害に遭われた全ての方々に対し、改めて心よりお見舞いを申し上げます。

震災発生から今日まで、数多くの被災者が共に助け合い、また、国内外から多くの支援を受けながら、復興への歩みが進められてきました。その地において、震災を乗り越えて、初めて全国豊かな海づくり大会が開催されることは誠に意義深く、復興に向けた地域の人々のこれまでのたゆみない努力と関係者の尽力に深く敬意を表します。

現在、宮城県では、「環境と調和した持続可能で活力ある水産業の確立」を目指し、稚魚の育成や放流、藻場の造成など、水産資源の回復を図る取組が積極的に行われるとともに、海浜清掃や植林活動など、海の環境を保全する取組も進められていると聞き、心強く思っています。

本日表彰を受けられる方々を始め、全国各地において日頃から豊かな海づくりに尽力されている皆さんの活動が、今後も多くの人々によって支えられ、更に発展していくことを期待します。

私たちは、今もなお、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な困難に直面しています。水産業に携わる皆さんの御苦労もいかにばかりかと思いますが、私たちが皆で心を一にし、力を合わせてこの試練を乗り越えていくことを心から願います。

「よみがえる 豊かな海を 輝く未来へ」をテーマとするこの大会が、海や漁業への関心と理解を深め、豊かな海づくりを目指して更に多くの人々が協力していくための契機となることを願い、挨拶といたします。